

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 住友化学株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号
----	-------------------------	----	---

本票作成	部署名：岡山プラント生産技術部
------	-----------------

主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業
-------	-------	----	----------

事業の概要	医薬品、医薬中間体の製造 従業員200名
-------	----------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	大分工場岡山プラント	岡山県倉敷市児島田の口6丁目4番1号

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	---

温室効果ガス排出量	基準年度(平成30年度)	(令和2)年度排出量	目標年度(令和3年度)
	28,874 t CO <sub>2</sub>	26,599 t CO <sub>2</sub>	28,008 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和2)年度排出量
	①	大分工場岡山プラント	26,599 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	令和元年度	～	令和3年度	(3箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(2)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	50.7 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量(基準製品換算方式)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(2)年度	目標年度
		10.730 t CO <sub>2</sub> /(t)	5.295 t CO <sub>2</sub> /(t)	10.408 t CO <sub>2</sub> /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和2年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

平成30年度に対して、令和2年度は生産量が増量したこと、液中燃焼設備のLNG使用量を更に削減したこと、および電力CO<sub>2</sub>の係数削減により原単位は目標を達成した。

**【推進体制】**

ISO14001環境マネジメントシステムを活用し、継続的な改善を推進した

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(令和2年度実施分) 岡山プラント	(令和2年度実施分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・液中燃焼設備での運転条件改善によるLNG使用量削減</li> <li>・水銀灯LED化の推進</li> <li>・液中燃焼設備の廃熱回収の検討</li> <li>・蒸気使用量のロス解析</li> </ul>
(今後実施予定分) 岡山プラント	(今後実施予定分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・LED化の推進</li> <li>・CO2フリー電力の導入</li> <li>・冷凍機更新</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	有	当社はタイ南部のラノー県において、公益財団法人「オイスカ」と共同でマングローブ森林プロジェクトを継続中。

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

・2008年11月より環境省「エコ・ファースト」制度に参画し、環境大臣との約束の下、今日まで環境先進企業として地球環境保全活動に積極的に取り組んでいる。  
 ・2018年10月、当社グループのGHG排出量を2030年度までに2013年度比で30%削減等の目標についてSBT (Science Based Targets) の認定を取得し、パリ協定の「2℃目標 (2℃シナリオ)」に貢献するGHGの大幅削減に積極的に取り組む方針を表明した。